

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	暮らし・にぎわい再生事業計画策定事業		会計			
基本	27	秩序の中にもにぎわいのある都市空間をつくる	款			
策	2	地区まちづくり構想の推進	項目			
			細目			
			細々目			
基本計画該当頁			117		行革大綱の重点事項番号	
担当部課	コード	040100	評価者	森本 一生	連絡先	22 - 9620 (内線) 2111
	名称	企画振興部企画調整課	氏名			

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
再開発地区及びその周辺地区で事業を行おうとする事業者 (対象件数)	中心市街地活性化基本計画に盛り込まれた事業(行政実施事業及び民間実施事業)が、「暮らし・にぎわい再生事業計画」を策定することにより、国からの支援が受けられることになるなど円滑な実施が可能になる。
根拠法令・要綱等	が
開始年度	平成 20 年度
終了年度	平成 20 年度
関連事業	生涯学習センター整備事業 ・俳句のくにづくり拠点施設整備事業
本年度事業内容	<p>(平成19年度) まちづくり三法の改正を受け、伊賀市中心市街地活性化基本計画の国の認定を受ける予定である。</p> <p>(平成20年度) 認定を受けた後、暮らし・にぎわい再生事業計画を策定する。</p>
状況変化等	<p>伊賀市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けた後、「暮らし・にぎわい再生事業計画」を作成することにより、基本計画に盛り込まれた事業の円滑な実施や国からの支援を受けることが可能になる。</p> <p>上野市駅前再開発、周辺整備、丸之内ルネッサンス、ふれあいプラザ活用整備等、行政実施事業と民間実施事業を一体的に推進するための「暮らし・にぎわい再生事業計画」の策定を行なう。</p>

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容									
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)							
委託	↔									事業計画作成委託料		9,000														
工事	↔									旅費		100														
										その他事務費		100														
進捗率(%)		事業費計(A)			0			事業費計(A)			0			事業費計(A)			0									
事業投入人員		人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)		0.2	人	1,440	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0
フルコスト(A)+(B)		0			0			0			0			10,640			0									

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	0	9,200	0	0
Aの財源内訳	国庫支出金			3,000		
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	0	0	6,200	0	0
	計	0	0	9,200	0	0
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率					
	地方債の区分と充当率等					
				暮らし・にぎわい再生事業費補助金		

事業種別	新規	補助	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H21	H22
関連事業にかかる国庫補助の円滑な利用	%	目標 実績	目標 実績	100	100
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
暮らし・にぎわい再生事業計画策定進捗率	計画策定を100パーセントとする		目標 実績	目標 実績		100
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	伊賀市中心市街地活性化基本計画を実効性の高いものとするため、基本計画記載事業を円滑実施する必要がある。事業の円滑実施には、国庫補助の活用は不可欠であり、それを受けるために「暮らし・にぎわい再生事業計画」の策定が新たに必要である。
有効性	4	中心市街地が抱えている課題を行政及び民間事業者が解決していくために有効である。
達成度		
効率性	4	国の方針である「選択」と「集中」により、国からの支援も受けるため、事業展開の効率性は高い。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		